

笑顔あふれる学校・思いやりあふれる学校・チャレンジあふれる学校

令和2年度 飯野中学校 学校だより 第92号

自律  
挑戦

# 志保井が丘

協働  
創造

2021.3.11 発行 文責 校長 目黒 満

教師・保護者・地域がみんなで見守り、みんなで育む学校

## 卒業、明日が卒業証書授与式です おめでとう!

明日、3月12日が卒業証書授与式です。3年生の皆さん、ご家族の皆さん、ご卒業おめでとうございます!

コロナ感染予防のため、今年度もディスタンスを十分に取り、体育館いっぱいに生徒席・保護者席をつくり実施いたします。残念ながら、お世話になった地域からの来賓の皆さんはお呼びできませんが、来賓代表としてPTA会長さんをお招きして式に華を添えていただきます。明日の主な日程は以下の通りです。

- 8:30~8:45 在校生登校
- 9:10~9:30 卒業生登校
- 9:20~9:40 保護者・来賓受付
- 9:50~ 卒業生入場
- 10:00 開式
- 11:00~11:10 卒業生退場
- 11:10~11:35 最後の学活

- マスクを全員が着用し、受付では検温と手指のアルコール消毒を徹底してください。
- 保護者の出席は各家庭2名までとさせていただきます。
- 最後の学活は、教室廊下側の窓を外します。廊下からご覧下さい。
- 感染予防のため、見送りは実施しません。



## 今日は3月11日

今日は3月11日。十年前の今日は金曜日。県内の公立中学校卒業証書授与式は、13日と決まっていますが、十年前の13日は日曜日だったため11日(金)の午前中に卒業証書授与式が行われました。式が終わり、卒業生を見送り、式場の片付け等も終わって昼食を取り、年度末の事務処理をしていた午後2時46分。あのマグニチュード9.0、最大震度7という経験したことのない凄まじい大きさの揺れが、突然、私たちを襲いました。記録では、震度4以上の大きな揺れが続いた時間は3分10秒だったそうです。

当時、私は市内の学校の職員室にいて、揺れが来てすぐに職員室から廊下に飛び出しました。廊下には、各種大会のトロフィーや盾が何十個も飾ってあるガラス製の棚が廊下の両側に並んでおり、その棚が大きく揺れて今にも倒れそうになっていました。咄嗟に両手で両側のガラス棚を押さえましたが、揺れが続いて自



分自身も立ってられないような状態でした。両手でガラス棚を押さえながら、いつまでも続く大きな揺れの中で、この後、どんな状況が自分たちを待っているのだろうか、このガラスが割れて、自分に降りかかったらどんな恐ろしいことになるのだろうか等、揺れが続くとてつもなく長〜と感じる時間の中で、頭の中がグルグルと同じところばかり回っていたように思います。

棚を押さえながら、職員室にいた先生方に、「早く職員室から外に避難してください!」と無意識に叫んでいたようです。でも、先生方もあまりの揺れの大きさに、頭を守ることに、自分自身を守ることで精一杯で、逃げるところまで行かなかった記憶があります。

幸い、中学校には生徒は一人もおらず、先生方だけだったので、この程度で済んだのですが、小学校ではもっと深刻な状況でした。

とても長く感じた大きな揺れが収まり、ようやく校舎の外に出て、先生方全員の無事を確認しましたが、その後も大きな余震は頻りに発生していました。これから先、自宅にいる生徒の安否確認や家庭の被害状況確認、明日からの1・2年生の授業のこと、3年生の高校進学への準備や入学オリエンテーションはどうなるのかなどなど、頻りに揺れの中で頭が白くなってしまっていたような記憶があると同時に、空から雪がちらちらと落ちてきて、感じたことのない寒さが襲ってきたことを覚えています。

自宅で過ごしている家族の安否確認も、電話がなかなかつながらず、心配なまま過ごしましたが、数時間後にメールでなんとか確認できて安心しました。私は、避難所設置のため、自宅に帰れたのが明け方近くの時間でしたが、地震発生時には兄弟3人しか家におらず、一番下の6年生を、2番目の兄が学校まで歩いて迎えに行ってくれたことを妻から聞き、少しほのぼのとしたことを思い出します。

そんな記憶も10年という時の流れの中で、少しずつ風化していきます。だからこそ、今日3月11日には、必ず震災のことを家族で思い出したり、学んだり、また地震の後に沿岸部を襲った大きな津波で命を奪われた多くの人に思いを寄せる時間をしっかりとつくり、語り継いでいく必要があると考えます。

各ご家庭でも、今日は震災特番ばかりだと思いますが、記憶が薄い子供たち、記憶がない子供たち、まだ生まれていなかった子供たちに、改めて、保護者の方の当時の体験をお話してください。そして、災害時に取るべき行動や避難場所、安否確認の仕方を確認し、命が何より大切なものであることや家族の大切さを伝えてみてください。

